

8、7、6、5、4、3、2、1、
 6の近くに大きく打ち込む

徳

45度で大きく打つ
 筆を起し弾力をつけ、大きく右上へ払い出す
 呼吸を受け、方向に注意し切れ味鋭く払う
 2より左から入り弾力を筆の上下動を活かし送筆スツキりと長く払う

之

左斜め上から鋭く起筆し45度の角度でゆつたり払う
 接点は1と2の間くらいに2よりやや下げ真横へ長く払い出す

人

1、太く大きく右上りに細身に縦に長く
 「口」はやや大きく縦長に
 1と平行に押し出す様に中心に長く送筆
 右上りにせずに全体を支える様にどつしりと
 3つのブロックの大きさを確認する

聖

1、筆を深く沈め真下に払う気持ちで
 2、太く折り返し大きくそる
 3、1より下まで引き真上に
 4、「口」は扁平に大きくすぎず中心にしっかりと引く
 5、全体を支える様に太く
 6、1よりも中で納める様に

風

徐々に加圧し右上りに
 2、中心に起筆し上部を長く左右に広げすぎない
 3、手だけで払わずに、筆を左に倒すイメージで筆を運ぶ
 4、接点は1と接触しない
 5、同じ高さで太く短く払う

大

1、中心に太く起筆し長く送筆
 2、1の真ん中に、右斜め上に押し出す様に強く
 3、勢を少し倒し軽く入る
 4、勢をつけることで自然と抑揚がつく
 5、終筆細くならぬ様に筆管の角度は変えない

上

1、払いの部分を考え右側を空けるように
 2、45度の角度で入り勢いよく少し短く同じ太さで
 3、2との接点はやや左側に倒れすぎぬ様に丁寧に払う
 4、接点3より下に穂先を突く
 5、同じ高さまで下げ太く払う

天

雲	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	雲
日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	日
夕	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	夕

日	あき	標準字体	許容される点
雲	雲	標準字体	許容される点
夕	夕	標準字体	許容される点

「夕日に雲」
 赤々と燃える夕日に雲がうつる。夏は空が高くどこまでも見えそぞだ。

「字の中の空間を広く!」

雲: 丸みをつけてふつくと、横にはり出す、鋭く、縦に抑揚をつけて、縦に打つ

日: まっすぐ下に引いてくる、注意、打つ位置に

夕: 払いの角度に注意、横に広げない

散	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	散
歩	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	歩

散	あき	標準字体	許容される点
歩	歩	標準字体	許容される点

「散歩」
 いぬの散歩をすると多くの人と出会う。コミュニケーションが増えることはいいことだね。

「横広にのびやかに書こう!」

散: 長さを広げ、広い空間を、まっすぐ下に引いてくる、縦に「月」は縦長に、あける

歩: 三角形を作る、少し広く、まっすぐ下に引いてくる、直線上に、大きくしすぎないように

地	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	地
天	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	天

地	ち	標準字体	許容される点
天	天	標準字体	許容される点

「天地」
 天地をゆるがす大地震。日頃からのそなえをしつかりと行おう。

「起筆をしつかり入ろう!」

地: 「土」は高く長く、左を長くする、丸く、力を入れて、太く、ななめに、短く、あける

天: 45度の角度で、まっすぐ下に引いてくる、縦に「月」は縦長に、あける

あめ	1	2	筆順
あ	1	2	筆順

あめ	あめ	標準字体	許容される点
あ	あ	標準字体	許容される点

「あめ」
 七月は雨が多く、天気が悪い日が多い。色んな所に行っても雨が多いのは悲しいね。

「筆先をまわして太く書こう!」

あめ: 太く、ななめに、短く、あける

あ: 左にそる、うでを大きくまわして、まわして、あける

かさ	1	2	筆順
か	1	2	筆順

かさ	かさ	標準字体	許容される点
か	か	標準字体	許容される点

「かさ」
 大好きなかさをさして学校へ。雨がふっていても気分は晴れやかなるね。

「ふでを大きくくさそう!」

かさ: 太く、ななめに、短く、あける

か: 左にそる、うでを大きくまわして、まわして、あける

ポイント解説 (担当: 笹嶋健人)